

令和6年度東日本地域高等専門学校技術職員

特別研修会（機械系） 参加報告

第1班 佐藤真人

1. 目的

本研修会は、高等専門学校の技術職員（学科、教室、教育研究センター、実習工場及び練習船等における教育・研究の技術支援等に従事する職員）に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を習得させ、技術の資質の向上を図ることを目的として開催された。なお、参加者は19の高専から21名であった。

15:40 講義V
「マダガスカルへの引率で見えた高専生の強みと弱み」
講師：長岡高専教員 和久井 直樹 氏

<2日目>

9:00 「研究開発技術の発表及び質疑応答」
13:00 「研究開発技術の発表及び質疑応答」
(発表時間:10分 質疑応答:5分)

2. 期間

令和6年8月28日(水)～30日(金)

<3日目>

9:00 長岡技術科学大学施設見学
オンライン配信による工作センター等機械系施設の見学

3. 会場

長岡技術科学大学（主幹：長岡高専）
※台風影響により直前にオンライン開催に変更

11:30 講義VI
「実習とロボコンからみた高専生の物づくりスキル」
講師：長岡高専教員 井山 徹郎 氏

4. 日程

<1日目>

9:00 開校式

9:15 講義I

「本学における『DXRものづくり』
教育・研究の推進」

講師：長岡技大教員 中山 忠親 氏

10:50 講義II

「再生可能エネルギー：地域と本学のGX」

講師：長岡技大教員 山田 昇 氏

13:00 講義III

「生物-機械融合システムの開発」

講師：長岡技大教員 庄司 観 氏

14:45 講義IV

「重力波観測の技術とデータサイエンス」

講師：長岡高専教員 酒井 一樹 氏

12:20 総評・閉講の挨拶

長岡高専 技術教育支援センター
外山 茂浩 教授

5. 研修会に参加して

台風の影響で急遽対面からオンライン形式での開催に変更となったが、講義全体を通し、最新の研究内容や日々の学生指導に関わる内容など技術職員としての知見を広げる事ができる有意義な講義であった。また、二日目に設けられた発表のセッションでも各高専の技術職員方々の様々取り組み事例を知ることができ気づきを多く得ることが出来たので学生指導を始め技術支援など今後の業務に活かしていきたいと思う。